

早期膵癌における腫瘍微小環境に関する研究

1. はじめに

神戸大学医学部附属病院 病理診断科および神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野では、2013 年 1 月 1 日～2023 年 11 月 30 日のあいだに膵切除を受けられ、病理診断にて「高異型度膵上皮内腫瘍・上皮内癌」もしくは「浸潤径 10 mm 以下の浸潤性膵管癌」とされた成人の患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

2. 研究概要および利用目的

膵癌（浸潤性膵管癌）は 5 年生存率 7-12%と極めて予後不良な悪性腫瘍で、その原因として早期発見が難しいこと、化学療法や放射線療法に対する抵抗性があること、マクロファージや制御性 T 細胞など腫瘍促進的に働く細胞が多い一方、細胞傷害性 T 細胞など腫瘍抑制的に働く細胞が少ないことが挙げられています。近年、画像所見より浸潤性膵管癌の前病変である「高異型度膵上皮内腫瘍・上皮内癌」を疑って切除するという膵癌早期発見・早期治療に向けた試みが当院でも施行されていますが、術後の検討では一部の症例がすでに「高異型度膵上皮内腫瘍・上皮内癌」ではなく、浸潤性膵管癌に進展しています。このような早期膵癌において、マクロファージ、制御性 T 細胞、細胞傷害性 T 細胞といった細胞がどの程度浸潤しているかを解明することによって、膵癌の進展メカニズム、さらには治療標的を探索するための研究を開始します。

つきましては、2013 年 1 月 1 日から 2023 年 11 月 30 日までの間、当院にて膵切除が施行された患者さんのうち、「高異型度膵上皮内腫瘍・上皮内癌」もしくは「浸潤径 10 mm 以下の浸潤性膵管癌」と病理学的に診断された患者さんを対象として、過去に作製されたホルマリン固定パラフィン包埋ブロックを再度解析し、腫瘍の進展とマクロファージ、制御性 T 細胞、細胞傷害性 T 細胞といった細胞の浸潤との関係性を検討します。

3. 研究期間

この研究は、研究機関の長による研究実施許可日から 2025 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 研究に用いる情報・試料の項目

- ・患者基本情報: 年齢、性別、再発の有無（有の場合は再発年月日および部位）、生存状態（死亡の場合は死亡年月日および原因）
- ・手術で摘出された組織より作製されたホルマリン固定パラフィン包埋ブロック

既存情報・試料の利用を開始する予定日

2024 年 4 月 1 日から行う予定です。

5. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野（研究責任者: 狛 雄一郎 機関長の氏名: 眞庭 謙昌）

6. 外部への情報・試料の提供・取得の方法

この研究は神戸大学医学部附属病院のみで実施されるため、外部への情報の提供や取得はございません。

7. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野の鍵のかかる保管庫に保管します。

8. 情報・試料の保存・管理責任者

この研究の保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学医学部附属病院 病理診断科 研究責任者: 狛 雄一郎

9. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータ若しくは残余検体をご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・カルテからのデータ収集若しくは残余検体の再利用のみであるため、特にありません。

10. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さんよりご提供いただきました試料や情報は、研究期間中は神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野において厳重に保管いたします。ご提供いただいた試料や情報が今後の医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、研究終了後も引き続き神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野で厳重に保管させていただきます。(保管期間は最長で 10 年間です。)

なお、保存した試料や情報を用いて新たな研究を行う際は、医学倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し、以下のウェブサイト公開する予定です。

・ホームページアドレス: <https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/soudan/research.html>

ただし、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄(データの削除、印刷物はシュレッダー等で処理)いたします。

11. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

12. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めを希望されたとき、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、取り止めを希望されたときにすでにデータがコード化されていたり、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合もあります。

13. 研究に関する利益相反について

本研究の研究者はこの研究に関連して開示すべき利益相反(COI ※)関係になる企業などはございません。

※研究における、利益相反(COI(シーオーアイ): Conflict of Interest)とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに当たります。このような経済的活動が、臨床試験の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために利害関係を管理することが定められています。

14. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸大学医学部附属病院 病理診断科 担当者: 児玉 貴之

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-2

TEL: 078-382-6474

E-mail: takodama@med.kobe-u.ac.jp

受付時間: 10:00 - 17:00 (土日祝日はのぞく)